

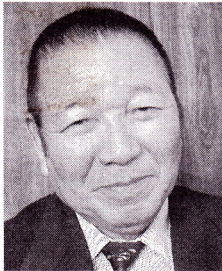
首都圏の

顔

5月の総会で正式に就任。「急逝した佐久間支部長に代わり、昨年11月から代行として業務を行っているので、特に違和感はない」と話す。県協会では経営委員と運賃特別委員を担当している。

成田、佐倉、佐原、印旛など、さまざまな特色を持った地域を抱える北総支部。以前はB地区だったところもあり、「地域内格差を改めて痛感した。今後、支部としての意見をまとめなければな

千夕協北総支部長 成毛 由興氏



1935年生まれ。成田空港交通を78年設立。社名を国際空港交通に変更し、98年代表取締役就任。北総支部で副支部長を経て5月から現職。

らない局面があるだろうが、なかなか難しい問題だと頭を悩ませている。

景気は徐々に上向いて

いる兆しがあるが、「北総では營收が2万円から

4万円と支部の地域間でも差がある。小規模な会

社が多く、総会を開いては頼りにされている。成

田地区防犯パトロール隊代表、成田防犯協会成田支部副支部長なども務める。

昨年の成田地区での犯罪件数増加に対応して、10月に成田駅構内運営委員会を地元の防犯協会に加盟させた。駅に入構するタクシー全車に防犯ステッカーを貼付したところ、大幅に件数が減ったという。

趣味は旅行。国内にも海外にも出かける。海外では中国、韓国、台湾など主にアジアへ。「昔は朝から夜まで仕事ばかりしていて、旅行だけが楽しみだった」としみじみ振り返った。(大)